

平成 24 年第 1 回議会定例会 一般質問通告（要旨）

平成 24 年 3 月 8 日（木）

1 中野康子 議員

1	図書館の充実と利用促進策について	
	(1)	蔵書数等の充実、高齢者・障害者などの利活用方策とその課題はなにか伺う。
	(2)	情報拠点に相応しい環境と人的体制の充実が望まれる。どのような将来構想を描いているのか。
	(3)	小中学校の学校図書館標準の早期達成のため、どのように取り組まれるのか。

2 名波富幸 議員

1	萩間川流域の災害対策と相良地区のまちづくりについて	
	(1)	相良地区のまちづくりをどのようなビジョンをもって行うのか
	(2)	萩間川流域の治水・災害対策は
	(3)	萩間川のふるさとの川創生事業について
2	牧之原市立図書館のあり方について	
	(1)	牧之原市立図書館の蔵書数や利用状況が周辺市町の図書館と比べてかなり少ないが、その理由は何か
	(2)	勉強できるスペースを充分取った新しいスタイルの図書館の建設が必要だと考えるがどうか
	(3)	雑誌スポンサー制度を導入して市立図書館のサービス充実を図る考えはあるか

3 田村兼夫 議員

1	小規模小学校の統合についての所信を問う	
	(1)	財政的見地から：小規模校ほど事業費が割高になることをどう考えるか。
	(2)	児童の活動の見地から：学級活動でサッカーができない、クラス替えができない、このことをどう考えるか
	(3)	職員の負担増の見地から：学年主任、各教科主任、保険主事、などは大規模校と同じように置かなければならない。負担は重くなる。このことをどのように考えるか。

4 桑田幸一 議員

1	中学校の武道必修化について	
	(1)	市が取り組む武道教育の基本的な考え方について
	(2)	指導者の育成と事故防止対策について
	(3)	国や県、市の支援策について
2	子ども達の防災教育について	
	(1)	学校現場での津波防災訓練の取り組みについて
	(2)	放射能学習会の開催について

5 川島啓司 議員

1	牧之原市の山積した課題にどう取り組んでいくか	
	(1)	牧之原市では、国保税や水道料金など公共料金の値上げが相次いでいるが、市民に理解が得られるか。
	(2)	原子力行政について、市民への知識普及が必要であるが、具体的にどのように図っていくのか。
2	指定管理者制度について	
	(1)	榛原総合病院について、診療体制の充実や今後の地域医療交付金などについて、指定管理者との協議はされているのか。
	(2)	公共施設の指定管理について、制度導入から4年が経過しているが、それぞれ検証はしっかりされたのか。
	(3)	今後の指定管理・民間委託について、検証の結果を踏まえて、どのように考えていくのか。

6 大石和央 議員

1	災害廃棄物の広域処理問題について	
	(1)	市は災害ガレキが安全かつ灰の最終処分にめどが立てば受け入れるのか。
	(2)	災害廃棄物の広域処理の法的根拠は何か。
	(3)	広域焼却処分にかかる経費および負担または責任についてお聞きする。
2	施政方針における浜岡原発問題について	
	(1)	市長は再稼働について、国が決定し地方が了解するという従来の判断ではいけない、と述べているが、妥当な地元判断とは何か。
	(2)	学習や議論の機会を積極的に提供していくとしているが、計画や日程についてどこまで具体化しているのか。
	(3)	市長は、浜岡原発が再稼働する場合は住民投票で賛否を問うと発言している。そのための住民投票条例制定について見解を伺う。

平成 24 年 3 月 9 日（金）

7 増田伸三 議員

1	牧之原市の将来ビジョンについて	
	(1)	平成 28 年度の消防救急業務広域化後の市内の消防体制は
	(2)	地震津波災害に備え市庁舎の耐震化は十分か
	(3)	合併 10 周年記念事業をどのように進めていくか
2	地域活性化のためのパートナーシップ協定について	
	(1)	熱海市は静岡銀行と地域活性化のためのパートナーシップ協定を結んだ。 当市ではこのようなことを考えているか。

8 太田佳晴 議員

1	平成 24 年度 施政方針について感じる事	
	(1)	大震災を教訓とした福祉の視点からの今後のまちづくりについて、市長の考えを伺う。
	(2)	障害者自立支援法の改正に伴う相談支援事業の育成について、具体的にどのように考えているのか市長の考えを伺う。
	(3)	「浜岡原発の再稼働は有り得ない」と発言した市長が、浜岡原発の再稼働に向けて地元判断が予測される中で、市民と共に学習、議論し、明確な判断をしていくとはどういうことか。

9 鈴木千津子 議員

1	牧之原市における今後の高齢化社会をみつめて	
	(1)	「高齢化のピークを迎える次期を見据えて」と施政方針にあるが市長の目指す高齢者の「安全安心に暮らせる町」とはどのような町か。
	(2)	介護保険条例の改正（介護保険料の値上げ）が示されているが、3年ごとの値上げはやむをえない方針であるのか。
	(3)	10 年後には団塊世代の人達が高齢化のピークを迎えると思われるが、相互に手を貸し合え、財政的にも負担を少なく出来る、牧之原市独自の施策が出来るような検討委員会を立ち上げてはどうか。

10 赤堀 勲 議員

	災害時等の人工透析患者の支援について	
1	(1)	東日本大震災では、断水により透析治療が中断された。自治体は透析治療機関に優先的に給水車を配置したと聞く。市はどのような場合に対してどのような対応をされるか。
	(2)	「災害時等の相互応援に関する協定書」第2条（応援の種類）に人工透析患者に対する移送又は透析治療の受け入れも含まれているか。
	(3)	市内には夜間透析治療機関はない。透析患者は家族の生活を安定させるために市外の夜間治療機関に通い昼間は働いている。このような状況を市は把握しているか。

11 良知義廣 議員

	牧之原市暴力団排除条例の制定に向けての取り組み状況とこれに関連した補助金等交付規則や指定管理者制度に関することについて	
1	(1)	暴力団排除条例を制定するに至った経緯と条例に盛り込もうとしている暴力団排除のための具体的な内容について、どのようなことを想定し、考えているのか。
	(2)	条例を市民等に周知させるための施策について、どのようなことを行っていこうとしているのか。
	(3)	補助金等交付規則や指定管理者制度における暴力団排除条項の適用の有無について、どう考えているか。